

放射線療法の提供体制構築に資する研究（21EA1010）

研究分担者 生島 仁史
徳島大学 大学院医歯薬学研究部 教授

研究要旨

本邦における小線源治療の患者数、受療状況、医療従事者等の現状把握を効率的に行う為、インターネットを使用したアンケート調査方法を確立した。

A. 研究目的

小線源治療の現状把握を効率的に行う アンケート調査方法を検討し確立する。

なし

3. その他

なし

B. 研究方法

研究分担者と討議を繰り返し、小線源治療の患者数、受療状況、医療従事者の就業状況、教育状況を把握するために必要な項目を選出した。選出した項目を領域ごとに分類し、WEBアンケートフォーマットを作成した。次に2019年の小線源治療稼働状況を調査し、対象施設のリストとアンケートを送付する施設代表者の氏名および連絡先リストを作成した。

（倫理面への配慮）

臨床研究ではなく、アンケート内容と手法の検討であるため、倫理的な問題はない。

C. 研究結果

本邦で実施されている小線源治療技術ごとに、2019年の1年間で治療が実施された対象疾患と患者数、治療装置の設置状況、医療従事者数と就業状況、研修医の教育状況がWEBアンケートで調査できるフォーマットを作成した。

D. 考察

小線源治療の提供体制構築に資する研究を行う為には、医療資源の分布、患者の受領状況、施設間の連携状況など多岐にわたる正確な情報の収集が必要である。一方で、アンケート回収率を高めるためには必要最小限の項目を選定することや、回答者が入力しやすい回答方法にする必要がある。我々は討議を重ね、また、ダミーランを行い校正を繰り返すことで、効率的なアンケート調査方法を確立した。

E. 結論

小線源治療の現状把握を効率的に行うアンケート調査方法を確立した。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録